

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和4年3月号）

令和4年3月1日

2月13日（日）はあいにく雨で、南口「みんなの庭」の共同活動は中止となりましたが、晴天に恵まれた18日（金）、赤い花が咲くユリの球根200球を植え付けました。あらかじめ有志が土起こし・施肥を行い、当日は前川種苗のスタッフ3人も応援に駆けつけてくれました。球根は「花いっぱい会」（高知市みどり課）のご提供です、皆様の支えに感謝いたします。

3月の活動日は13日（日）09:00～10:30、4月は10日（日）の予定です。

.....
○トピックス：

— 2月10日（木）、高知市みどり課を訪問、枯死した北口のハナモクレン、南口のヤシの木の植え替えへの関心をあらためてお伝えしました。

— さて、今回は珍しい写真をお届けします。下の写真は何の木でしょう？お判りの方がおられたらスゴイです。（答えは次ページをご覧ください。）



松山市の天然記念物、樹齢300年以上



実から級食用油が採れるほか薬効に製薬会社も注目

.....
駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

土佐の野山に30万本 —『木を植えた男』の物語（その2）

「榧（カヤ）の森づくり」に取り組む前川 穎司（えいじ）さん(前川種苗会長、82歳)が、「令和3年度総務省ふるさとづくり大賞（個人表彰）」を受賞したと1月報じられました。

山から姿を消しつつある榧の苗を育て、土佐の野山を主に、30年間で30万本以上を植え続けたのが評価されたとのこと。



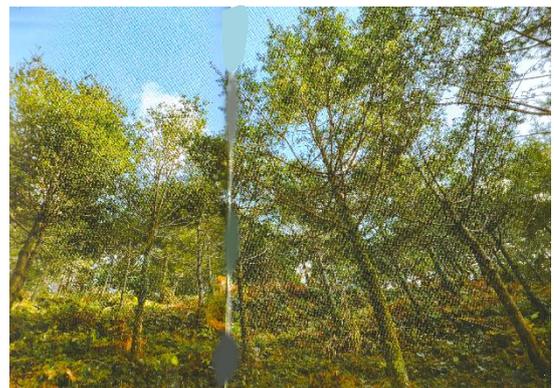
始めたきっかけは何か、前川さんを訪ねてお訊きしました。囲碁好き（アマ6段で日本棋院高知県支部長）が高じて、40数年前から碁盤の収集と製作を始めましたが、やがて材料の榧材が手に入りにくくなり、中国なども禁輸したので途方に暮れます。山の宝石ともいわれる希少な木です。「絶滅させてはならん。そんなら自分が植えちゃる。」と思い立ったのが30年前だそうです。

家業が育種家で研究農場もあり、植える山を充分持っていたのが幸いしました。種を採って苗を育て、多い年には1万本以上ひたすら植え続けたのです。杉などは50年で大きくなりますが、固い榧は生育が遅く300年かかります。植え付け前の整地やら、水遣り、雑草刈り…と手間もたいへんだし、せっかく根付いてもネズミ、ウサギ、イノシシ、シカなどに食われて、無事育つのはわずか3割ほど。それでもあきらめず、社員やボランティアの応援も得て突き進みました。

以前、パートナー美智子さんの運転で、現地を方々案内してもらいました。山を蔽うくらい広い場所もあれば、畑ほどの小さな土地もあり、規模はまちまち。植えたばかりの場所があり、森に育った場所もありで、30年という途方もない道のりの重みを実感しました。



高知市一宮逢坂山



香我美町中西川

前川さんが手を入れている山の総面積は2000町歩（約2000ヘクタール）、東京ドーム425個分に相当します。ほとんどは昔からの所有ですが、放棄地を譲ってもらったものも少なくありません。「日本の山を榧の森にする。そして、荒れた山を緑に変え、清流を取り戻す。」と決めた前川さんのシゴトに終わりはなさそうです。（写真は前川種苗さん提供）

以上